

曾川 洋光 化学生命工学部 化学・物質工学科 高分子設計創生学研究室

Point1 本研究の概要

疎水性の天然ゴム(NR)と親水性のアルギン酸ナトリウム(AlgNa)をラテックス状態(水分散液)で混合することにより、均一性に優れた複合エラストマーを、少ないエネルギーコストで調製できる。

天然素材を活用することで、環境負荷を抑えたサステイナブル材料が得られる。

Point2 応用可能な分野

- ・タイヤ材料
- ・帯電防止ゴム材料
- ・生分解性プラスチック素材

Point3 連携を希望する業種等

- ・ゴム材料業界
- ・プラスチック素材業界
- ・化学材料業界

詳細な研究・技術シーズは次ページへ

用途・応用分野

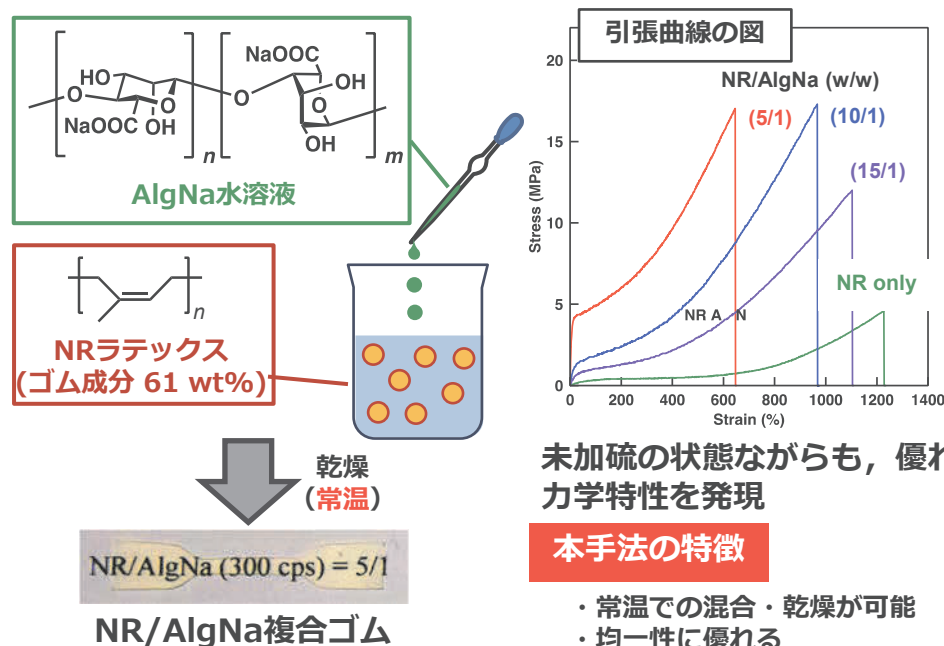
タイヤ材料・帯電防止ゴム材料・生分解性プラスチック素材へ応用可能なサステイナブルゴム複合材料

本技術の特徴・従来技術との比較

疎水性の天然ゴム (NR)と親水性のアルギン酸ナトリウム (AlgNa)をラテックス状態(水分散液)で混合することにより、均一性に優れた複合エラストマーを、少ないエネルギーコストで調製できる。

天然素材を活用することで、環境負荷を抑えたサステイナブル材料が得られる。

技術の概要



特許・論文

<特許>

「ゴム複合材料及びその製造方法」
(特願2025-061300)
(共同発明者:三田文雄)

研究者

曾川 洋光
化学生命工学部 化学・物質工学科
高分子設計創生学研究室

お問い合わせ先

関西大学 社会連携部 産学官連携センター

TEL: 06-6368-1245

MAIL: sangakukan-mm@ml.kandai.jp